

国立環境研究所運営費交付金（うち、地域循環共生圏関連事業費）



【令和2年度要求額 18,256百万円の内数（16,659百万円の内数）】

「地域循環共生」の学理の構築により、地域の「知の連携」と「人材育成」の研究教育拠点を形成します。

1. 事業目的

- (1) 地域循環共生圏の形成に係る知識と経験を集積する研究教育の拠点（環境イノベーションのナレッジステーション）を整備し、地域ニーズを解析して「循環共生の未来ビジョン」を描く理論とモデルを開発できる体制を形成。循環共生の技術政策の複合的なソリューションの計画評価手法を確立する研究基盤を構築します。
- (2) 地域循環共生圏の推進に向けた研究と教育を通じて、地域と科学を橋渡しする専門家を生み出す研究教育体制を構築することにより、「地域循環共生知」を地域間、産官学、国内で共有して発信する仕組みを形成します。

2. 事業内容

(1) 地域の循環・共生の未来診断モデル研究

- ・ 地域ニーズと環境特性の解析と、社会経済シナリオ等の予測に基づくエネルギー、交通、資源と水・大気系環境と生態系サービスと生活快適性への影響等を地域ごとに予測し、「科学知」として関係者間で共有する「地域循環共生アセスメントモデル」の研究開発の中核となる連携講座を構築します。

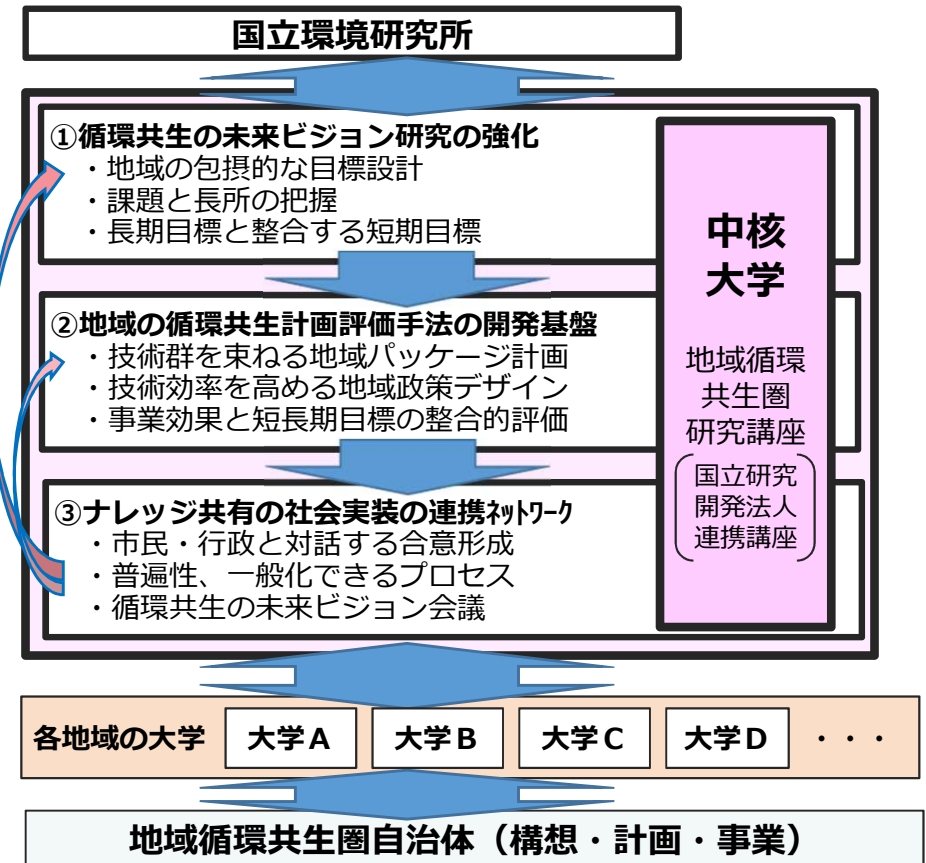
(2) 循環共生のソリューション設計と社会実装研究教育拠点

- ・ 地域循環共生の技術と政策の取り組み、ソリューションを体系的にデータベース化して、地域の大学と自治体との連携で、地域に適した持続可能な未来ビジョンと社会転換シナリオを描いて、社会実装プロセスの研究教育を推進する連携基盤を形成します。
- ・ 国環研と中核大学、大学コンソーシアムと地域の連携研究教育で、地域活力を生み出すとともに、実践に裏付けられる地域循環共生の専門人材を育成します。

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金
- 補助対象 国立環境研究所
- 実施期間 令和2年度～

4. 事業イメージ



温室効果ガス濃度の全球モニタリングなどに必要な「いぶき（GOSAT）シリーズ」のデータ処理を行っています。

1. 事業目的

- ① 「いぶき」（GOSAT）シリーズの観測データから温室効果ガスの濃度や吸収排出量等の高次プロダクトを定常的に作成する。
- ② 作成された「いぶき」（GOSAT）シリーズのプロダクトを長期的に保存するとともに、研究者や一般利用者に関連情報と合わせて提供する。

2. 事業内容

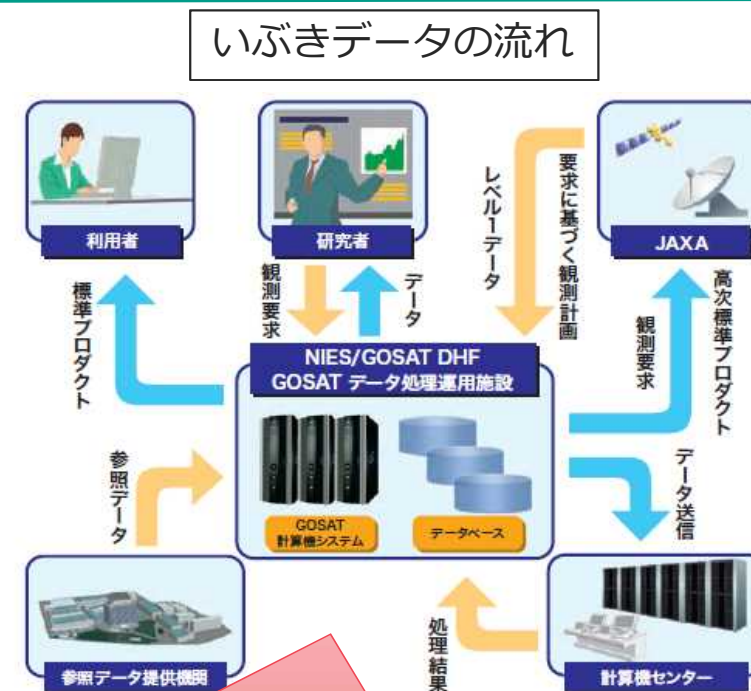
温室効果ガス観測技術衛星（いぶき、GOSAT）シリーズは、環境省・宇宙航空研究開発機構（JAXA）・国立環境研究所（NIES）の共同プロジェクトです。その1号機は平成21年1月に、2号機は平成30年10月に打ち上げられ、10年以上にわたり地球全体の温室効果ガスのモニタリングを行なっています。

本事業では「いぶき」シリーズのデータから温室効果ガスの濃度や吸収排出量などのプロダクトを定常的に作成し、研究者や一般利用者ホームページなどを通じて提供するための地上データ処理システムの開発とその運用を行います。特に令和2年度には2号機のデータによる温室効果ガスの吸収排出量プロダクトの公開や3号機用の地上データ処理システムの開発を開始する予定です。さらに1号機、2号機のデータを長期的に保存するシステムの開発と運用準備も進めます。

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金
- 交付対象 国立環境研究所
- 実施期間 平成16年度～

4. 事業イメージ



JAXAからの「いぶき」レベル1プロダクト等から、温室効果ガスの濃度や吸収排出量などを算出し、高次プロダクトとして公開しています。